

志方東
営農

くみあいだより

2021年(令和3年)
12月27日(月)

第13号

**来年に
向かって**

代表理事 丸山 良作

平素は営農組合運営にご理解、ご協力ありがとうございます。本年も残すところわずかとなりましたが、昨年同様コロナ禍で大変な一年となりました。しかし、そういう状況下でも例年と変わりなく営農組合が運営出来たことに感謝申し上げます。

さて、本年は稲作農家にとって本当に厳しい年でした。2割近くも米価が下がり、又、追い打ちをかけるように肥料・農薬の値上げも既に決定しております。営農組合は保有米の販売で何とか売上を維持しておりますが、来年は水稻の作付面積を少し考えないといけないかもしれません。

来年度は主食用米の需要減に対し主食用米から麦・大豆・野菜などへの転換を支援する「水田リノベーション事業」が拡充されそうです。その一環として水田を畑地化した場合、相当な補助金も出るようですが、こういった補助金をうまく活用し、営農組合の運営に反映していきたいと思っております。又、後継者不足に関しては、以前から問題になっておりますが、未だにこれといった解決策は見出せません。農家・非農家関係なく若い世代の方に声を掛け、少しでも営農組合の必要性を理解してもらい、協力を求めていく必要があります。これには組合員の皆様のご協力が絶対不可欠です。来年も、より一層のご支援を賜ります様、お願い申し上げます。



★米保管用冷蔵庫を購入しました。現在は昨年収穫した玄ソバが入っており、これからも引き続き乾麺、そば米等に加工し、販売していきます。



★昨年はコロナ禍の影響で実施出来なかった採蜜イベントが5月29日に広尾東支店のヘアリーベッチ栽培圃場で実施されました。今回もJAふれあいイベントとの一環として行われました。



★今年もドローンによる小麦への防除(赤カビ)が実施されました。作業委託費の負担が大きいため昨年より実施支店は減りましたが、防除作業からも解放され又、防除効果もしっかりと表れています。



★しろやま農業研修センターで12月15日～18日にかけて味噌作り教室を開催しました。今年は8名の方の参加がありました。皆さん和気あいあいのもと初めての味噌づくりに挑戦されました。今回参加されたメンバーで新たに味噌づくりのグループができたそうです。今後も味噌づくり教室を通じて手作り味噌のファンを増やしていきます。



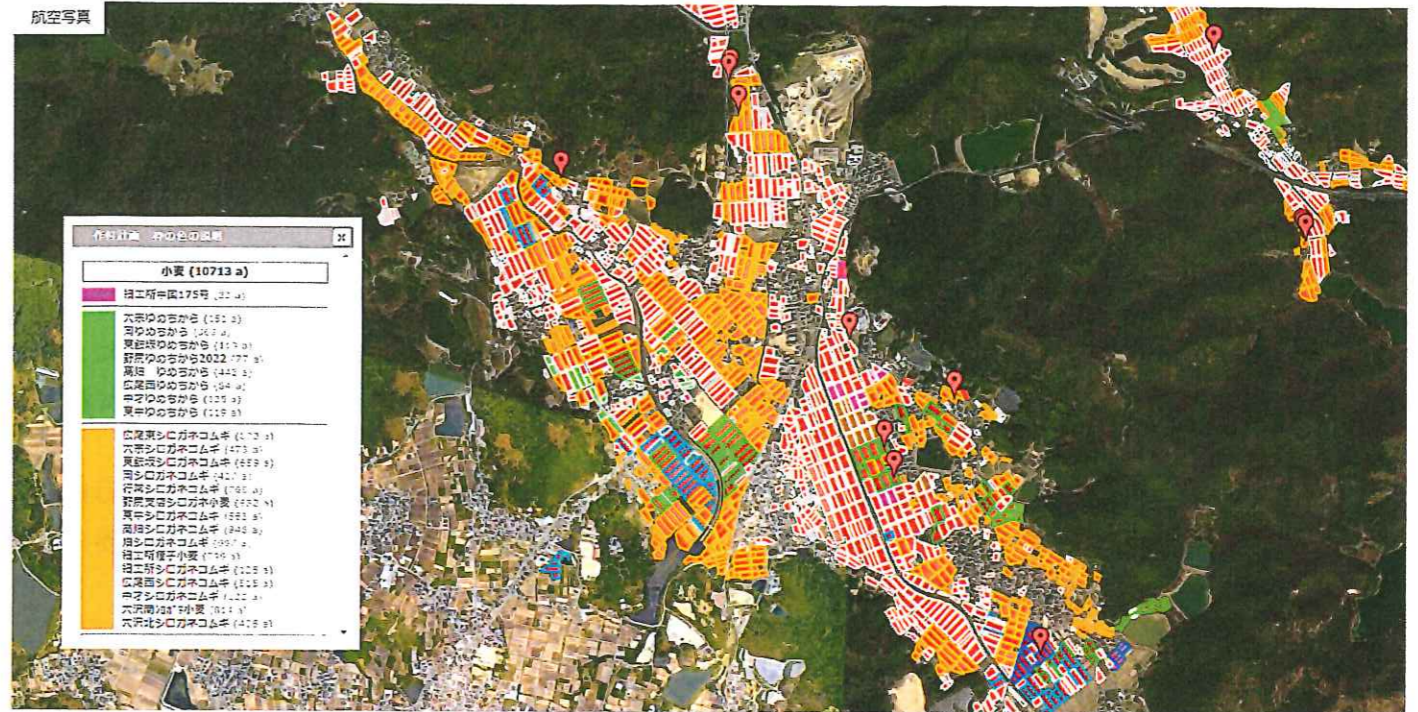
★本店農業倉庫敷地の整地工事が完了しました。用水路の蓋も出来、利用するにも困難な細長い土地が見違えるようになりました。駐車場としても利用価値が上がりました。



★志方東コスモスまつりも今年で15年目を迎えました。2006年の兵庫国体開催時に高畑地区の広い農地一面にコスモス畑が出現しました。あの見事さは今でも忘れられません。今年は3地区で10/9▷10/17で開催されました。

本年よりKSAS(クボタスマートアグリシステム)を導入しました!

KSASを導入する事により下図のように全支店の作付計画が本店パソコン画面上で見ることが出来るようになりました。あらかじめ全支店の圃場の字名、面積を地図上に落とし込み、作付品目をその地図上に入力するだけで圃場の位置、作付面積が即座に計算できるようになりました。現在はこのシステムのほんの一部しか利用できていない状態ですが、今後は少しずつクリアしていき当営農組合の運営に活かしていきます。

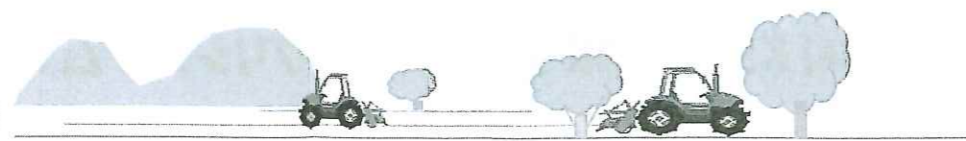


2021 事業報告

- 1月**
 - ・乾麺加工発注 (1200袋) 寺尾製粉
 - ・農機部会開催
 - ・作物部会開催
 - ・学校給食入札 (紫黒米)
 - ・理事会開催
- 2月**
 - ・乾麺搬入 (JA 記念品用)
 - ・カーナビ装着トラクター実演会開催
 - ・ドローンによる防除面積確定
 - ・農機部会開催
 - ・ドローン実技テスト受験 (3名)
 - ・全農来訪 (JA 施設について)
 - ・理事会開催 (団体長会同時開催)
- 3月**
 - ・会計監査実施
 - ・ネットワーク協議会出席 (神戸市教育会館)
 - ・小麦・大豆栽培講習会出席 (JA しかた支店)
 - ・田植え・稲刈り作業の勉強会開催 (本店)
 - ・県農業経営課課長・普及センター所長・農林事務所所長来訪
 - ・書面決議書開封 (総会資料)
 - ・理事会開催
- 4月**
 - ・紫黒米入札 (2回目)
 - ・くみあいだより発行 (第12号)
 - ・クボタ KSAS 登録申請
 - ・地域再生協議会出席 (青少年女性センター)
 - ・ドローンによる防除実施 (4/19~21)
 - ・近畿農政局参事官他2名来訪
 - ・理事会開催
- 5月**
 - ・KSAS 講習会開催 (本店)
 - ・ヘアリーベッチ現地確認 (市農水)
 - ・小麦現地確認 (市農水・JA)
 - ・ラジオ関西収録 (JA ふれあい広報課)
 - ・小麦種子審査会実施 (JA・普及センター)
 - ・採蜜体験実施 (JA ふれあいイベント)
 - ・理事会開催
- 6月**
 - ・玄そば搬入 (そば米加工用)
 - ・理事会開催
- 7月**
 - ・総務部会開催
 - ・理事会開催
- 8月**
 - ・農業共済研修会出席 (コスモホール)
 - ・本店農業倉庫敷地整備工事開始
 - ・総務部会開催
 - ・日本農業新聞社、取材の為来訪
 - ・健やか米現地確認 (市農水)
 - ・理事会開催
- 9月**
 - ・普及センター前家氏来訪 (新品種視察)
 - ・大豆・そば現地確認 (市農水)
 - ・農機部会開催
 - ・JA 来訪 (小麦新品種実証田について)
 - ・ヘアリーベッチ栽培勉強会時実施 (雪印 種苗・普及センター)
 - ・理事会開催
- 10月**
 - ・本店農業倉庫敷地整備工事了
 - ・ソバ現地確認 (市農水)
 - ・総務部会開催
 - ・収入保険説明会開催 (NOSAI 兵庫)
 - ・総務部会開催
 - ・理事会開催
- 11月**
 - ・近畿農政局来訪 (来年度予算請求について)
 - ・農業団長会役員会出席
 - ・ふぁーみんショップ農業研修会出席
 - ・岡山県勝央町より視察研修受け入れ
 - ・理事会開催
- 12月**
 - ・小麦・水稻共済審議会出席 (農業共済会館)
 - ・理事会開催
 - ・くみあいだより発行 (第13号)



支店だより



*畑支店 栗山 輝彦

令和元年に支店長として就任して以来、はや3年が経とうとしています。就任当初は、前農業団体長からおおよその事は聞いていましたが、組合法人としての取り決め、役割や支店間の情報交換あるいは提出書類、配布資料等支店長としての様々な業務があり、合わせて私自身、農業委員会の推進委員でもあり、委員会から送られてくる書類及びJAやNOSAI兵庫からの必要書類も毎月のように送られてきます。その数には正直なところ驚きました。営農での作物の生育状態も気になる中、定期的な防除作業、畦畔の草刈りなど本当に大変でした。しかしながら皆さんの協力を得て3年も経験すると要領もわかり何とかこなせるようになりました。思いとしては、今後の畑支店の実績向上に向けてまずは圃場の改良、更には志方東営農組合が押し進める品目の作付を実施していくよう考えなければなりません。

今後は協力員の一人として、営農作業に取り組んでいきたいと思っています。

*広尾西支店 大村 勝信

今年は天候不順でソバ、大豆の出来が著しく悪かった。又、コロナの影響による外食産業の不振等により米余り、価格の下落がひどくなった。その分水稲による収入が相当減少した。来期は水稲作付について根本的に見直すべきと考えている。

麦作については、当支店では適性の圃場が少なく面積を増やす事は困難であるが、出来る限りの努力はしたい。又、高齢化が進み作業に支障をきたす事が多くなって来た。早期に世代交代を図りたい。これからそれぞれ自身の体を考えて将来に向けての展望を見据えて対処していきたい。

*東中支店 藤井 敏

今年度は、前年同様小麦が少し倒れましたが、10a当たり350kgの収穫が出来ました。来年はこの倒伏の原因を明らかにし、もう少し反収を上げたいと考えています。当支店では3年周期で小麦播種の圃場を展開しているが、収穫量を安定させる事の難しさ感じております。

コロナ禍の影響で未だ町内の総会も開催されておきませんが、関係者で後継者問題や放棄田の処置等など山積みしている問題を協議し、現状を打破したいと思っています。

*行常支店 藤本 章

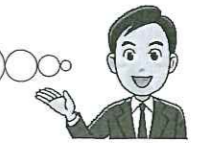
令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で各農家や作業員とのコミュニケーションが電話連絡や文書連絡が中心になり、対話が少なく意思の疎通があまり出来なかった。その為農作業が効率よく進まなかったが小麦と水稲の収穫量は前年と変わりなく安心した。異常気象と毎年言われる中、令和4年度は過去のデータにとらわれずに作物の状態に合った農作業を進めたい。作業員の減少と高齢化を考えながら。

*東飯坂支店 黒田 豊

今年の小麦は初めてドローンによる赤カビの防除を行い、省力化と確実な防除ができ、病虫害の影響もなく無事収穫することが出来ました。今後もできるだけ活用していきたい。秋の水稲の収穫から小麦の播種にかけて好天が続き順調に作業が出来ました。ただ水稲は異常気象のせいかわり収穫量が以前より減少した。イノシシの被害が少しあり今後電気柵を含めた獣害対策が必要になってくると思われまます。またフレールモアによる草刈り中にトラクターの事故が発生した。作業員全員が安全意識をもって事故の無いよう努力して行きます。

支店だより

今回は記事提供を受けた8支店のみの掲載となりました。



*岡支店 上野 忠啓

いよいよお尻に火が!!米価の極端な下落、想像していた以上です。(全農買取価格前年比17%の下落)いくらあがいても物の価格だけは一度下がると元に回復する事はありません。岡支店では、持続可能な経営の在り方を考察し、先ず水稲に於いては、当支店の保有米の確保を最低限の生産目標とし、これからの食の多様化に向かって、付加価値を見出せる米への転換(餅・米粉米)で30万円/反を目指す新品種へ取り組みます。今年は試験栽培として、減農薬・化学肥料不使用でもち米・米粉用米の栽培を40aで実施しました。もち米については今までにない柔らかさの持続と食感を得ました。米粉についてはこれから製粉技術等を検討し、次へのステップを模索します。何はともあれ、経営の安定には国よりの補助金をいかに確保していくか、奨励品目の麦・大豆(その他の高収益作物)の多収・良品の栽培技術を習得して栽培面積の拡大、それには毎年同じ栽培方法では何も生むことは出来ません。栽培技術の第一歩は土壌の改良と整備、これには改良に必要な投資(レベラー・トレンチ)が必要となってきます。資金調達をどうするかは各支店の生産への関心度を上げることにより確保出来ると思っています。今出来る事を少しでもしなくては、次への担い手の確保が益々危うくなってきます。

作物部会からのささやき

今年の小麦の発芽状態・生育はどうですか、見回りはしていますか?見回るだけで小麦はより良く育ってくれます。(ホントの話)

*野尻支店 玉田 和俊

令和3年もあと少しのところまで来ました。今年一年間も昨年からのコロナ対策で日々が過ぎました。営農では小麦の作付は大きな病気(赤カビ)の発生もなく無事出来たと思います。しかし鳥獣被害は、防止策を設置しているにも関わらず、特に水稲に多くの被害が例年に続き発生しました。

最近、騒がれている地球温暖化が原因と考えられる水害、高温による不作には今後特に関心を抱く所です。皆様のお知恵を頂きながら対処していきたいと考えています。

今年は発足時からの農機具の修理が、定期的に修理しているにも関わらず多く発生しました。ただ支店全員の健康、無事故、無災害で活動出来たことを有難く思っています。来年(寅年)の皆様の健康、ご活躍を祈念いたします。

*広尾東支店 丸山 良作

年明けのキャベツ収穫から始まり、キャベツ収穫で終わるといった年末まで忙しく充実した一年だったと思います。米価の下落といった大きな問題もありましたが、多種にわたる品目の作付、イベントでの販売などで何とか米価の下落分は補うことが出来たのではないかと思います。

しかし、毎年年頭に作付計画を立てますが、はたして計画どおり実行出来るか心配でなりません。作業従事者の高齢化、予期せぬ気象の変化等の不安材料が沢山あります。今までやってきたのだから多分やれるだろうという思いはありますが、現場での雰囲気は高齢化の波がひしひしと年を追うごとに迫ってきているように感じます。今後は土地利用型農業(主に米作、麦作)に関しては機械化されている為、出来る限り少人数でこなし、それ以外の作業に対しては、女性も含め沢山の人の関わってもらえるよう心がけたいと思います。又、地域以外の人にもイベントなどを通じて情報を発信し、地域農業に興味を持ってもらえる体制を作り上げることが出来れば最高です。